

2022年7月13日

Hitachi Zosen Inova 社がフランスのボイラーサービス会社の株式を取得

日立造船株式会社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントの設計、建設、メンテナンスなどを手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、HZI）は、このほど、フランスでボイラーサービスを手掛けるEST Industries Holding（以下、EST Industries）の株式の40%を、同社の主要株主であるAntherva（フランス）より取得しました。

HZIはこれまで欧州を中心にごみ焼却発電プラントを数多く納入してきましたが、当社グループの長期ビジョン「Hitz 2030 Vision」の方針に沿って、戦略的にメンテナンスなどのアフターサービスの強化を進めています。欧州では、中小型プロジェクトやメンテナンス事業を拡充させる目的で、本年2月にSteinmüller Babcock Environment GmbH（ドイツ）の全株式を取得しています。

EST Industriesは、ごみ焼却発電プラント向けのボイラーシステムの製造や組み立て、メンテナンス、基幹改造などのサービスを手掛けており、フランスではごみ焼却発電プラント向けボイラーサービスのリーディングカンパニーです。EST Industriesの株式取得により、HZIは欧州でこれまでに建設したごみ焼却発電プラントをベースに、アフターセールス・サービス事業を拡充させ、欧州のごみ焼却発電市場におけるプレゼンスをさらに強化していきます。

当社グループは、今後ごみの衛生的な処理やクリーンエネルギー技術を通じ、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）達成や世界の環境問題解決に積極的に取り組んでいきます。

EST Industries Holding の概要

所在地：フランス モゼル県 サラルブ（Sarralbe）

設立年：1986年

事業内容：ボイラーシステムの製造や組み立て、メンテナンス、基幹改造

資本金：30万EUR

従業員数：150人

(終)